リレー放談（第２話）『同窓会ノススメ』

（１８期生Ｒ組）　更科　岳郎

師走に入り何かと多忙な日々が続いております。未曾有の災禍の中、同窓会会員の皆様におかれましては各医療施設にて日々奮闘されていることと拝察致します。この度、同窓会山本先輩よりリレー放談を引き継ぎました、更科と申します。いただいたご縁に感謝申し上げます。

私は、東京電子専門学校診療放射線学科を第 18 期生として卒業した 1989 年 4 月に東京大学医学部附属病院 放射線部へ文部技官として奉職しました。時代は平成へと移り変わる区切りの年に社会人としての一歩を踏み出したのでした。あれから早いもので 32 年、定年退職まで指折り出来る年になっておりました・・・。この間、母校との関わりはといえば実習生を介して学校の様子を窺い知る程度で、残念ながら同級生と顔を合わせる機会もほとんどありませんでした。ところが 2019 年、同総会設立と診療放射線学科創設５０周年の記念式典の運営に準備段階から関わる機会に恵まれました。この時３０年ぶりに訪れた母校は、驚くほどの変貌を遂げていました。古びた教室に建付けの悪いサッシ窓、数人乗れば警報が出るエレベーターはもうどこにもありませんでした。近代的な外観に床から天井までガラス張りの教室、吹き抜けのラウンジに大きな講堂、とても驚いたと記憶しています。

先輩諸兄のご指導を仰ぎ運営に携わった記念式典と祝賀会には１５０余名のご参加をいただき、盛会裏に終えることができました。卒業以来の再会となる同級生との時間はとても楽しく、さらに世代を超えた方々との親睦の機会としても大変有意義なものとなりました。この時の様子は同窓会の HP に掲載されております。

その後猛威を振るう新型コロナウィルス感染症によって残念乍ら同窓会の活動も制限されることとなりましたが、同窓会幹事会では Web 会議などを重ね、事業を推進しているところであります。先の見通しがつき辛い状況がしばらく続くことと思いますが、この状況が一日も早く解消されて、平穏な日々が戻りましたら、皆様にお会いできることを楽しみにしております。未だ多くの卒業生が同窓会の存在をご存じないのかもしれません。会員皆様の周りに東京電子専門学校診療放射線学科の卒業生がおられましたら、是非とも同窓会のご案内をお願い申し上げます。イベントなどの開催の際にはお誘いあわせの上ご参加いただきたいと思います。

一人でも多くの卒業生に同窓会へ入会いただき、皆様とともに同窓会が今後ますます発展していくことを切に願います。

リレー放談の第３話は、幹事会でも大変お世話になっている日本医科大学病院 大湾 朝仁 技師長にお願いしたいと思います。
大湾先輩どうぞよろしくお願いいたします。